

# がん克服の経験伝える

## 電話座談会など ネットで患者支援

がん患者や家族が、

がん治療を終えて社会

に戻った人と電話会議

システムで会話できる

サービスを、患者や経

験者の横顔を紹介して

いるサイト「5years」

(<https://5years.org/>) が5月

に始める。患者が不安

に思う「社会復帰」に

焦点を当てた新しい支

援として注目される。

サイトは、2007

年に精巣がんが見つか

り、約1年半の闘病生

活を送った東京都港区

の大久保淳一さん(50)

が中心になって今年2

月に開設。がん治療で

使われる「5年生存率」

という「嫌な言葉」(大

久保さん)を乗り越え、

今を生きる人を勇気づ

けたいとの思いを名称

に決めた。

目指すのは、料理の

レシピサイトのような

豊富な情報を入手でき

るコミュニケーション

の場。ニックネームで

登録すると、他の登録者の闘病や社会復帰までの記録が読め、同じ病名や年齢が近い人を検索できる。治療費の実例や、投稿形式のQ&Aも準備中だ。

来月スタートするの

は「経験つなぎ隊」と

名付けた電話座談会。

患者や家族が話を聞きたい経験者を複数選ん

で申し込むと、事務局

が人選や日程の調整を

し、専用電話とパワードを双方に伝える。

30分程度の座談会に司

会役のコーディネーター

ーが入り、他の登録者

も傍聴できる。電話番

号などの個人情報を教

える必要がないので安

心して使える。

こうしたサービス

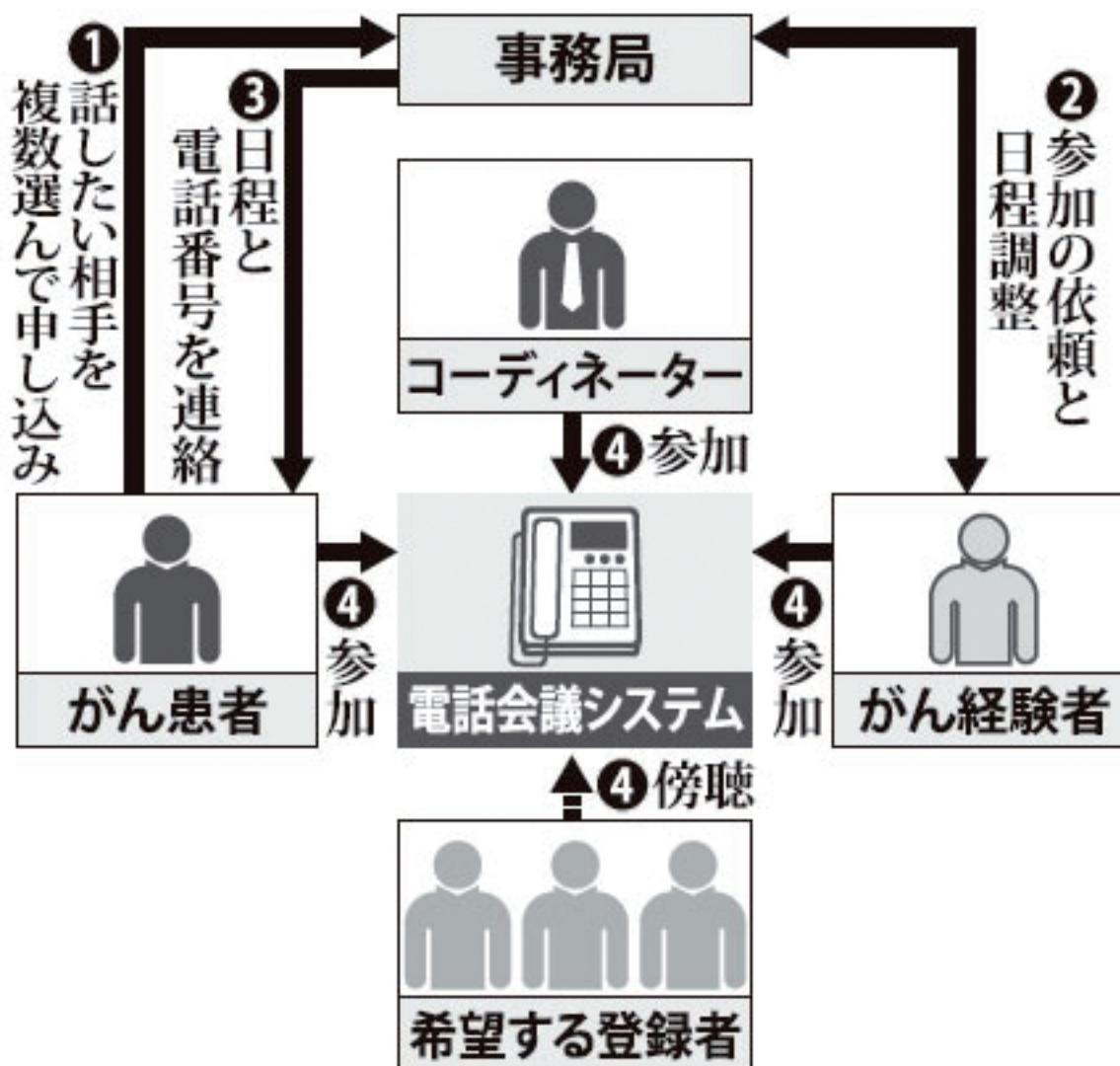
は、大久保さんが「入院中に自分が欲しかったもの」という。当時、

外資系金融会社の部長だったが、治療で社会から隔絶されるのは耐え難く、ネットで調べても悲観的な情報ばかり目に付いた。支えはがん克服後に偉業を成し遂げたアスリートの評伝だった。「同じ経験をした人に気軽に質問できたら、どれほど救われるだろう」

大久保さんは、100%マラソンを完走できるまで回復。「がんになつても人生が下り坂になるわけじゃないと伝えたい」と退職して、この患者支援団体を設立した。将来は他の病

気に対象を広げ、仲間を集めて寄付に頼らるべき事業に発展させたい

大久保淳一さん



電話座談会「経験つなぎ隊」の仕組み

30分程度の座談会に司会役のコーディネーターが入り、他の登録者も傍聴できる。電話番号などの個人情報を教える必要がないので安心して使える。

こうしたサービスは、大久保さんが「入院中に自分が欲しかったもの」という。当時、外資系金融会社の部長だったが、治療で社会から隔絶されるのは耐え難く、ネットで調べても悲観的な情報ばかり目に付いた。支えはがん克服後に偉業を成し遂げたアスリートの評伝だった。「同じ経験をした人に気軽に質問できたら、どれほど救われるだろう」

大久保さんは、100%マラソンを完走できるまで回復。「がんになつても人生が下り坂になるわけじゃないと伝えたい」と退職して、この患者支援団体を設立した。将来は他の病気に対象を広げ、仲間を集めて寄付に頼らるべき事業に発展させたい

【清水健二】